

西尾市事務評価シート

事務No.	32-023	事務内容	名鉄敷地（三河線跡地）関係				
総合計画施策コード	---		事務開始年度	不明		担当課名	土木課
予算科目	08款	01項	01目	大事業	01		
事務事業名 (中事業名)	人件費 ( 一般職員 ( 3 2 人 ) )						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	名鉄三河線廃線敷地内の道水路敷地を取得する。(名鉄敷地の利活用)
事務の対象 (誰(何)のために)	道水路として使用している土地及び整備計画がある土地について名古屋鉄道から用地の取得をしていく。
事務の概要 (具体的に何を)	道水路の必要地決定。土地取得の方針とスケジュールについての協議。(契約から登記事務については本事務作業に含まれません。)

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	0円	0円	0円	
人工	0.0人	0.0人	0.0人	
人件費②	0円	0円	0円	
総事務費③(①+②)	0円	0円	0円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	0円	0円	0円
	その他( )	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	0円		H29 総事務費③の対前年度比率	0.00%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要		金額
	なし			

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標						
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標						
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		0円		0円		0円	

●事業の終期

事務No. 32-023

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由	「名鉄三河線廃線敷地の利活用について」の協議は平成17年度から始まり平成30年度に取得箇所が決定した。	

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	有効性		効率性	公平性	
妥当性	市が実施することが適当であるか		3	効率性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	3
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか		3		事務時間は適切なものになっているか	2
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか		3		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	3
有効性	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか		3	公平性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	3
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		3		受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	3
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		3		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3
評価の総合的なコメント	事務作業が長期間かかっていることが問題であったが取得箇所が決定したことで多少の進捗は図られた。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	土地取得の方針とスケジュールについての協議が整えば、各管理者で予算計上をして契約からの事務作業を進めることとなります。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	用地取得の基本方針などの協議のため民間委託等には適さない。					
事務全体の課題	特になし					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	確認していない。
---------------	----------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	特になし
-----------------	------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	特になし
--------	------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	限られた財源を最大限有効活用し、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	32-060	事務内容	電線共同溝設備工事依頼				
総合計画施策コード	211	事務開始年度	平成28年度		担当課名	土木課	
予算科目	08款 02項 02目	大事業	05	中事業		00	
事務事業名 (中事業名)	市道新設改良事業 (国補助分) ( )						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	電線共同溝事業における個人宅への引込管の敷設工事(設備工事)を各電線事業者へ依頼することを目的としている。
事務の対象 (誰(何)のために)	設備工事の施工業者となる中部電力株式会社及びエヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社を対象としている。
事務の概要 (具体的に何を)	各事業者から提出される見積書等のチェック、協定書の作成及び締結、工事施工における調整及び管理、完了時における構造物の確認を行う。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	8,276,040円	8,333,000円	5,000,000円	
人工	0.2人	0.2人	0.2人	
人件費②	1,414,597円	1,420,922円	1,437,982円	
総事務費③(①+②)	9,690,637円	9,753,922円	6,437,982円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	9,690,637円	9,753,922円	6,437,982円
	その他( )	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	63,285円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.65%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額	
	負担金(中部電力)	1,617,840円(当初) - 956,880円(変更減額)	660,960円	
	負担金(NTTインフラネット)	8,067,600円(当初) - 395,280円(変更減額)	7,672,320円	

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	

●事業の終期

事務No. 32-060

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が未定の場合の理由	本事務は電線共同溝事業に付随しており、現在施工中の市道熊味今川1号線に関する事務は次年度で終了する。しかし、今後、新規に事業が立ち上がった場合は、再び本事務を行う必要があるため。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	4	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	4	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	4		事務時間は適切なものになっているか	4	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	4		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	4	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	4	公 平 性	受益者に偏りはなく、また、受益者負担の割合は適切か	4	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	4		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	4	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	4		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4	
評価の総合的なコメント	本事務は電線共同溝事業において必要な事務であり、評価については適正と考える。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	現在施工中の市道熊味今川1号線の事業完了により、本事務は終了する。しかし、別路線で事業が立ち上がった場合は、同様の事務を行う。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	本事務は道路管理者と設備工事業者との覚書に基づいて協定等の事務を行うものであり、民間委託や市民協働拡大には適さない。					
事務全体の課題	特に無し。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	愛知県建設部策定の「電線共同溝の手引き」に基づいているため、近隣市でも同様の事務を行っていると思われる。
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	特に無し。
-----------------	-------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	特に無し。
--------	-------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	一旦終了する事務については、事務の廃止を検討してください。
----------	-------------------------------

西尾市事務評価シート

事務No.	32-061	事務内容	電線共同溝建設負担金申請				
総合計画施策コード	211	事務開始年度	平成28年度		担当課名	土木課	
予算科目	08款 02項 02目	大事業	05	中事業		00	
事務事業名 (中事業名)	市道新設改良事業(国補助分) ( )						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	電線共同溝事業において、「電線共同溝の整備等に関する特別措置法」及び「同法施行令」にもとづき、占有者への建設費の一部負担を求めることを目的としている。
事務の対象 (誰(何)のために)	電線共同溝へ占有を予定している電力及び通信会社を対象としている。
事務の概要 (具体的に何を)	法律に基づいた負担金の算出、各占有業者への通知及び負担金の納付の手続きを行う。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	2,173,690円	1,315,000円	0円	
人工	0.1人	0.1人	0.0人	
人件費②	707,298円	710,461円	0円	
総事務費③(①+②)	2,880,988円	2,025,461円	0円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	0円	0円	0円
	その他( )	2,880,989円	2,025,461円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-855,527円	H29 総事務費③の対前年度比率	-29.70%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	負担金はその年度に施工する本管工事において、各占有業者が必要とする条数に基づき算出される。28年度は占有業者が必要とする条数が29年度と比較して多いため、約30%の減が生じた。			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額	
	負担金(4業者分)	533,619+330,185+180,418+270,627	1,314,849円	

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		0円

●事業の終期

事務No. 32-061

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が未定の場合の理由	本事務は電線共同溝事業に付随しており、現在施工中の市道熊味今川1号線に関する事務は終了している。しかし、今後、新規に事業が立ち上がった場合は、再び本事務を行う必要がある。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目	評価	評価項目	評価		
	妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか		4	効率性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか
ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか		4	事務時間は適切なものになっているか	4		
課題, 目標, 成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか		4	事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	4		
有効性		事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	4	公平性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	4
		事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	4		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	4
		事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	4		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4
評価の総合的なコメント		本事務は電線共同溝事業において必要な事務であり、評価については適正と考える。				
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	現在施工中の市道熊味今川1号線の事業においては本事務は終了している。しかし、別路線で事業が立ち上がった場合は、同様の事務を行う。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	道路管理者が建設費と占用条数に応じて算定し、占用予定者に納付を通知する事務であり、民間委託や市民協働拡大には適さない。					
事務全体の課題	特に無し。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	「電線共同溝の整備等に関する特別措置法」及び「同法施行令」に基づいており、近隣市でも同様に事務を行っていると思われる。
---------------	---

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	特に無し。
-----------------	-------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	特に無し。
--------	-------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	一旦終了している事務については、事務の廃止を検討してください。
----------	---------------------------------